

児童英語教育のスペシャリストをめざす

～理論と実践に根ざした児童英語教育～

神田外語
児童英語教員養成課程

Kanda University of International Studies
Program for Teaching English to Children
～児童英語教育のスペシャリストをめざす～



○ 児童英語教員養成課程について

国際化が進む現代、小学校での英語教育も本格化しつつあります。こうした状況を踏まえ、児童英語教員養成課程では、神田外語が長年蓄積してきた英語教育のノウハウを活かし、小学校英語教育に必要な英語力・英語指導力、教育力などを兼ね備えた人材を育成しています。

また修了要件を満たせば、卒業と同時に、「神田外語 児童英語教員養成課程」修了証が授与されます。

○ 指導体制・授業の履修について

本課程の授業は、言語習得に関わる理論に精通し、豊富な実践経験を持つ大学教員、児童英語教育研究センター（CTEC）の講師によって行われています。また、授業を履修する学生を中心に、CTECでは教材の貸出等の学習支援活動も実施しています。

○ 指導の特徴について ※裏面もご覧ください

本課程で行われる授業には、以下の特徴があります。

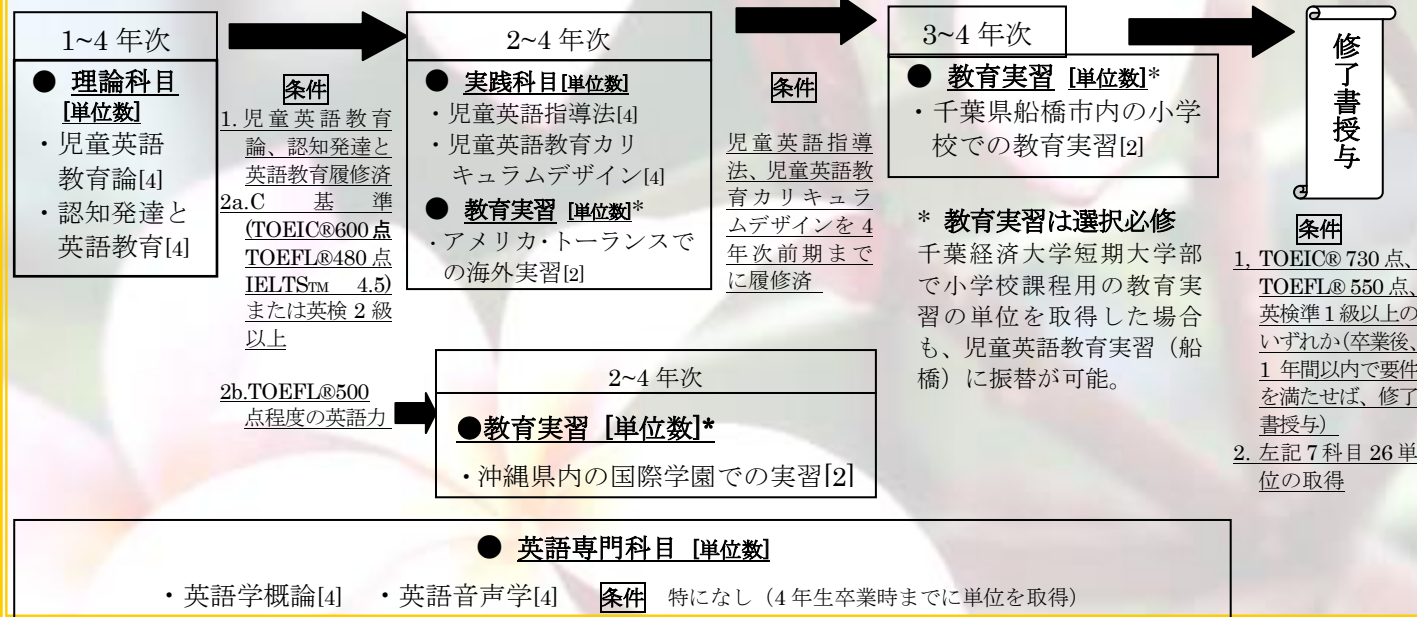
- ① 理論を踏まえた後で、実践について学びます。
- ② 理論科目では、討論からより深く問題を考察します。
- ③ 実践科目では、ワークショップを通じて指導技術を学びます。
- ④ 教育実習システムが充実しています（船橋市内小学校での教育実習や海外実習、沖縄実習等）。

○ 小学校の教員免許取得について

小学校の教員免許取得を希望する学生は、千葉経済大学短期大学部で科目等履修生として学ぶことにより、小学校二種免許取得に必要な単位を取得することができます。



平成 22 年度以降入学 1 年生用履修モデル



神田外語大学
児童英語教育研究センター（CTEC）
Kanda University of International Studies
Center for Teaching English to Children
TEL: 043-273-1579
FAX: 043-273-1726
E-mail: ctec@ml.kuis.ac.jp
URL: <http://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/labo/ctec/>



児童英語教員養成課程授業科目・講義概要一覧

授業科目・講義概要 [単位] ※ 教育実習については右記参照

① 児童英語教育論 A・B [4 単位]

【教員】 【前期・後期 担当】 河合 裕美

【概要】 この講義は将来的に早期英語学習者を対象とする英語教師になるために必要な理論や教育現場での実践活動を概観し、模擬授業などの演習にも取り組む。特に我が国における児童英語全体像と小学校外国語活動を理解し、自ら授業案を立案・指導できるようになるための入門基礎科目として関連内容を幅広く扱う。

② 認知発達と英語教育 A・B [4 単位]

【教員】 【前・後期 担当】 田中 真紀子

【概要】 本講座は、子どもに英語を教える際に知っておくべき子どもの認知・言語・知覚・記憶の発達とその特徴、および英語指導において基本となる理論的概念（ピアジェの発達段階理論やヴィゴツキーの社会文化理論、また様々な第2言語習得理論）を概観する。

③ 児童英語指導法 A・B [4 単位]

【教員】 【前・後期 担当】 内山 工

【概要】 小学校英語教育の現状に対応した児童英語指導方法を習得する。児童が無理なく英語をコミュニケーションの道具として身につける基本的な方法を学び、自分で指導案を作成し、授業を一人で行える力を養うことを目的とする。

④ 児童英語教育カリキュラムデザイン A・B [4 単位]

【教員】 【前・後期 担当】 河合 裕美

【概要】 本講座は、早期学習者を対象とする児童英語教師の育成のために、教師自らが授業実施者として授業案や年間カリキュラム作成の能力をつけることを目標とする。そのために、受講者は外国語活動が必修化されている公立小学校や民間英語教室で教えることを想定し、教授法、教材開発、指導技術を高めながら、ターゲットとする年齢層の早期学習者に最適な英語授業やカリキュラムを提案できるようにする。小学校外国語活動では学校の教育目標に照らし合わせながら各学校が独自にカリキュラムを作ることが要求されており、一方民間英語教室では幼児から小学生と幅広い年齢層を指導できる能力と中高へ連携づけるプログラム設定が必要なことから、理論的枠組みを捉えた一貫性のあるオリジナルカリキュラムを作成することを目指していく。

教育実習システム

教育実習システムの充実化

本課程の児童英語教育実習システムは、小学校教諭 2 種免許状の取得や海外実習を視野に入れながら、より充実したものへと発展してきています。教育実習システムは、以下の四つに分かれます。

(1) 千葉県船橋市内の小学校での教育実習

千葉県船橋市教育委員会との教育連携により船橋市内の小学校で実習を行っています。教室には担任教員・ALT の補助として加わり、小学校英語教育の現場を体験します。

(2) アメリカ・トーランスでの海外実習

ロサンゼルス郊外トーランス市教育委員会との連携で、市内の小学校で行われている授業にアシスタントティーチャー（補助教員）として参加します。日米の教育システムの違いや、また他教科の指導方法なども学べます。さらに、本プログラムはホームステイを通して日米の文化の違いを体験する絶好の機会です。

(3) 沖縄県内の国際学園での教育実習

うるま市の「インターナショナルコース」と「イマージョンコース」の「一校二制度」を採用し、幼稚園から 9 年生までの一貫教育を実施している学校での実習です。英語圏の教員と日本人のバイリンガル教員 2 名の補助として加わり、各コース特有の教育現場を体験します。

(4) 千葉経済短期大学を通しての教育実習

在学中に小学校教諭の免許を取得することを目的に科目等履修生として千葉経済短期大学に参加した場合、免許取得のために教育実習が必要です。千葉経済短期大学にて教育実習を履修した場合、本学児童英語教員養成課程の実習に単位を振り替えることができます。